

もうすぐ期末考査ですね。考査まで一週間を切りました。勉強のし過ぎで疲れていませんか!?そんな時は本を読んでみましょう。図書館にはたくさんの本があるので自分の好きな本を見つけてみてください。

(担当:2-B 男子)



令和2年度後期図書委員を紹介します



1A			1B		
1C					
2A			2B		
3A			3B		
3C					

後期はこのメンバーで活動します。よろしくお願いします。

～新しく入った本から紹介～

『MATT マット』 岩城けい 913い
オーストラリアに移住して5年。現地の名門校に通う16歳の真人は、平穏な学校生活を送っていた。しかし、ある転校生がやってきて…。自らのアイデンティティと向き合う青春小説。

3年生のおすすめにアイデンティティをテーマにした本が紹介されました。この小説も同様に自分のアイデンティティについて考えさせられます。あわせて読んでみてください。



『ロボット・イン・ザ・ガーデン』

デボラ・インストール B933い1
近未来のイギリス。34歳のベンはある朝、自宅の庭で壊れかけた旧型ロボットのタングを発見。他のアンドロイドにはない「何か」を感じたベンは、作り主を探そうとアメリカへ…。ダメ男とポンコツ男の子ロボットの友情物語!

とにかくタングのやることがかわいいのです。かわいくて切ない物語。おすすめです!





読書月間が始まります!!



11月27日(金)から12月24日(木)まで、東原中学校読書月間です。読書月間中は次のようなことをします。気持ちのいいこの季節に、読書をして楽しく過ごしてください。

・＜朝読書＞

8：25～35が朝読書の時間です。

時間になったら図書館や自宅から持ってきた本を静かに読み始めましょう。

注意!!：マンガや図鑑、写真集などはこの時間に読む本ではありません。



・＜出前図書館＞

11月27日(金)と12月15日(火)の8：15～25に行います。

学年の昇降口に図書委員が選んだ本を貸出します！図書館に行かなくてもその場ですぐに貸出するので、ちょっと覗きにきてください。

※本の用意を忘れた人は、ぜひ利用してください※



・＜阿佐谷図書館アンケート＞

毎年阿佐谷図書館では「中学生がえらんだイチオシ本」を発行しています。東原中・杉森中・阿佐ヶ谷中・天沼中の4校の中学生たちのリアルなオススメによる本の紹介冊子です。

今年は読書月間前に締め切らせてもらいました。多くの方のご参加ありがとうございました。春に発行されるのを楽しみにしてお待ちください。



・＜ブックメニュー＞

本で登場した料理が給食でできます。図書委員によるお昼の放送も聞いてください。

「ブックメニュー」の本

『彼女のこんだて帖』 角田光代 B9 13か

恋を失って泣きたい夜に食べるフルコース、専業主婦の憂うつを救うシチュウ。あなたはどの「彼女」の料理を作る？

角田光代のハートフル・ストーリーに、登場する料理を再現した詳しいレシピ付きの、2度おいしいこんだて帖。



← 11月24日(火)

12月8日(火) →
17日(木)



『南極ではたらく』 渡貫淳子 297わ

平凡な主婦の料理と生き方を変えた1年4カ月の南極暮らし。一念発起して南極地域観測隊の調理隊員になった著者が、昭和基地での生活について綴る。

図書委員オススメの本



『性の多様性ってなんだろう?』 渡辺大輔 367わ

2015年11月5日、日本で初めての“同性パートナーシップ制度”が東京都渋谷区と世田谷区で施行されました。またアメリカでは、“カミングアウト”している“トランスジェンダー”女性が初の上院議員になったり、“ゲイ”としてカミングアウトしている初のアフリカ系ラテン人や初の“ノンバイナリー”議員が選出されるなど、近年やっと“セクシュアリティ”について公でも身近になってきました。

ですが、まだ詳しく分からない人のほうが圧倒的に多いと思います。ここまでででてきた“ゲイ”“トランスジェンダー”“ノンバイナリー”、また“セクシュアリティ”について正しい知識や認識を持っていますか？そこで、みなさんにすすめたいのがこの『性の多様性ってなんだろう?』という本です。この本では、「性の多様性」を軸に全国の中学生在が抱えている疑問について対談形式でとても分かりやすく説明されています。

例えば LGBT は、レズビアン・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーを指しますが、最近では LGBTQ+や LGBTQIA+という言葉が使われはじめています。それは性に L・G・B・T 以外もあるんだという考えから始まったものです。詳しくは第1章に書かれています。

第2章では、「恋バナってみんなの共通話題？」をはじめ、学校に通って多くの人と関わる上で気になる話題が多くあります。特に「学校は意外と不便で不自由」は、生徒だけでなく先生方にも読んで欲しいです。今まで当たり前だと思い込んで深く考えてこなかったことが話されていて、学校のありとあらゆる不便で不自由なところが見つかると思います。

第3章では、文頭でも話題にあげた“パートナーシップ制度”についてや社会におけるセクシュアリティの扱われ方など、第1・2章よりも広い視野で今のリアルな疑問や問題について書かれています。第3章を読んだ後には絶対に自分の価値観は変わっていると思いますし、改めて現実の社会へ目を向けてみると今まで気づけなかった多くの問題が見つかることでしょう。

もし興味がなくても時間がある人にはぜひ読んでもらいたい一冊であり、セクシュアリティについてもっと知りたい人には胸を張ってすすめられる一冊です。

この本は東原中図書館で借りることができるので、ぜひこれをきっかけに手に取ってみてください。

(担当：3-A 女子)



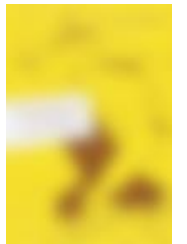
『ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー』 ブレイディみかこ 376ふ

小学校はイギリスの公立小学校ランキング1位のエリート校。しかし、中学校は元底辺学校に入学した主人公。そこは、中華料理店のガラス窓にレンガを投げている人や公園の茂みの中にたむろって妙な匂いをする巻煙草をたしなんでいる人がいたようなところでした。

中学校には、今まで考えられなかった家庭事情をもっている子や、差別的発言を言う子がいました。その中で悩み、前に進もうとする主人公の姿が母親目線で描かれています。

私はこの本を読んだことにより、自分のものの考え方に偏りがあると気づくことができました。みなさんもぜひ読んでみてください。

(担当：3-B 女子)



『仮面山荘殺人事件』 東野圭吾 B913ひ

主人公の奥さんが亡くなったことをきっかけに屋敷に集まった8人。そこへ逃走中の強盗が押し入ってきた。さて、無事に屋敷から出ることはできるのか？最後にこの本の根本を覆す衝撃の事実!!僕はこの本の最後の“衝撃の事実”がクセになり、何回も読みました。ぜひ読んでみてください。

(担当：3-A 男子)

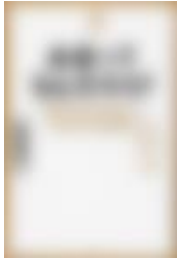
『スイッチを押すとき』 山田悠介 913や

東京都新宿区にある The Youth Suicide Control Project(青少年自殺抑制プロジェクト)。そこでは子どもたちが部屋に閉じ込められ、辛い生活を送らなければなりません。そしてあるボタンが押せるようになっていきます。そのボタンを押した子どもは・・・。

その生活の残酷な様子や辛い状況など緊張感や絶望感などが味わえておもしろいです。

少し怖いですがおもしろいので、ぜひ読んでみてください。(担当：3-C 男子)





『お金ってなんだろう？—あなたと考えたいこれからの経済—』 長岡慎介 330 冊
みなさんは「お金ってなに？」と言われたら、しっかり答えられますか？その答えがこの本には書いてあります。日本人は他の国に比べてお金に対する知識がとても少ない状態で大人になります。お金に関する知識を今からつけたら将来社長になれるかも……。僕もこの本を読んでもっとお金について学びたいと思いました。ぜひこの本を読んであなたも億万長者に！

(担当：3-B男子)



こちらのテーマは“食欲の秋”



『これ、食べていいの？ ハンバーガーから森のなかまで 食をえらぶ力』

マイケル・ポーラン 498 冊



私たちの体はトウモロコシでできていた！
そう聞いて不思議に思った人も多いのではないのでしょうか。私も最初は驚きました。私たちが普段食べるものはトウモロコシではない、と思っていませんか？実はそうでもありません。冷凍食品からドレッシングに至るまで様々なものにトウモロコシが使われているのです。この本では私たちが普段食べているものがどこからきてどんなふうに私たちのところまで届くのかをたどっています。食欲の秋だからこそ私たちの食について考えてみませんか？

(担当：2-A 女子)

『変な給食』 幕内秀夫 374 冊

全国のいろいろな少し変わった給食が6つに分けられ載っています。そして、その給食一つ一つに、クスッと笑えるようなツッコミどころがあります。

ぜひ、一言ツッコミを見ながら食べてみたい給食を探してみたいはかがでしょうか。この本には続編もあるので続編もぜひ読んでみて下さい。

(担当：2-A 男子)

